

一人で悩まないで、相談を!

シャープ5000人 / ソニー2000人 / NEC2000人

→ 応募するか、しないかは
本人の自由意志。

→ 会社から強要される
ものではありません。



「早期退職」強要の 面談は法違反

日本共産党田村智子参議院議員は平成24年8月27日の参議院決算委員会で電機産業の13万人にも及ぶリストラの中で行われている早期退職制度説明という度重なる面談は法違反ではないのかと追及。

小宮山厚生労働大臣(当時)答弁「退職強要制度退職勧奨につきましては、全体として被勧奨者の自由な意思決定が妨げられる状況だった場合には違法な権利侵害になると述べた最高裁判例があります(下関商業高校事件)。行きすぎた勧奨が行われた場合は違法な退職の強要と判断される場合があると考える」(参議院決算委員会)。

シャープの退職強要

大阪労働局に是正求める

(10月25日)



実行委員会は「退職強要が止まるまで、啓発・指導を行うべきだ」と迫りました。

労働局側は「啓発・指導は1回で終わるものではない。問題があれば引き続き行っていく」と答えました。

これが面談の実態——
会社も大変だけど、
私の生活は
もっと大変!



10回もの面談で上司から「君にやってもらう仕事はない」「会社に残っても困る」「会社に残りますと言っても聞いてもらえず、長い時には2時間以上にも及ぶ面談があった」

NEC

いま会社を辞めても行くところはないし、支援金をもらってもすぐなくなる。会社も大変だけれど、俺の生活はもっと大変だ。 51歳男性 パナソニック

「あなたのスキルではやってもらう仕事はない」「辞めないのなら地方に行ってもらおう。どんな仕事になるかわからない。それでもいいのか」 パナソニック

たび重なる面談で精神的な苦痛を受け、眠れない日々が続きました。食欲もなく、食べても吐き気や腹痛がし体重は5キロ以上も減りました。 NEC

うつ病で休職中の労働者にも、自宅近くの喫茶店で会社の計画を説明、その後も電話も含め8回も行う。 NEC

面談で「退職して下さい」「君の居る場所はない」と露骨に言われる。再就職支援会社まで同席し退職を迫る。早期退職とは名ばかりで実際は指名解雇そのもの。

シャープ

やめません! わたしは会社に残ります! 面接でこの一言があなたと家族を守ります